



愛をもって人生にエールをおくる

IGLグループ

# たよりIGL

141号

2023年9月15日発行

エールを送るコミュニティマガジン



IGLの夢、それは  
すべての人が生ある喜びを  
わかちあえる理想郷づくり。

たよりIGLリニューアル  
IGLの目指す原点

心理カウンセラーコラム「愛とつながり」

IGLで働くひとインタビュー  
サムエル園長リレーコラム  
かんたんセルフケア  
事業所トピックス

教えてドクター！  
教会から「愛の手紙」  
施設だより  
LOVE注入レシピ

# たよりIGLをリニューアルしました

「愛とつながり」「人と心を感じる」コミュニティマガジンへ



ながみ けんご  
IGLグループ理事長 永見 憲吾

IGLの機関誌「たよりIGL」は、1976年創刊以来、この度で141号を迎えました。1月、5月、9月の年3回の機関誌で、その時その時の出来事を情報提供してまいりました。

この141号の機関誌から紙面を少し変え、よりテーマ性のある、人間味溢れ、温かみのある（愛とつながり、人と心を感じる）コミュニケーションマガジンに変えてまいりたいと思います。

読者である施設の利用者さまとご家族や、保護者・学生・教職員の皆さんなどIGLに関わってくださる方々と、私たちの事業や活動の関わり、つながりを盛り込んだ機関誌となっていくことを願っております。

そこで、IGLグループはそもそも何を狙っているかの原点から改めて記してまいりたいと思います。

Love has just begun.  
It will be stronger and never die ...

はじめに愛があった。

## IGLの理念は、隣人愛

「自分を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい」  
すべての人は、それぞれの貴重な価値をもって生きています。  
そして、愛は、お互いの価値を認めあうことから生まれます。自らを低くして人の存在に感謝し、その人らしく成長すること、その人らしく生きることをささえる中で、共に喜びを分かちあい、私たちも成長し、自らの価値と能力を発揮することができます。

## 環境は人をつくる

### しかし、最大の環境は人である

IGLは、利用する人、生活する人、働く人が気持ちよく、明るい希望をもって過ごせる。まるで一本一本の花がそれぞれの個性を輝かせ、ささえあう花束のような環境づくりをめざしています。  
最大の環境である人が生きいきとして隣人愛のこころを実践し、清潔感あふれるあたたかい環境がこれをつつみこむ、これがIGLの願う「もてなし」と考えています。

IGLグループは、多角的なアプローチを用いて幅広い事業展開を行っています。長年の経験から、現代の社会環境では一つの事業に固執するだけでは成果を上げられないと認識しています。そのため、理念を基に複数の事業を展開し、アメンバー型の事業発展戦略を取っています。

現在、IGLグループには1,500人の教職員が在籍しており、教職員は既存の事業を守りつつ、継続的な改善を進めています。同時に、変化する時代に対応するため、新しい事業の創出にも力を注いでいます。これらの取り組みを成功させるためには、組織的なアプローチが必要であり、プロジェクトチームを結成し、情報共有を徹底して行うことが重要です。

IGLグループは、変化する環境に適応し続けるために、柔軟性と創造性を大切に、持続可能な発展を目指しています。皆様方のご協力とサポートに感謝し、共に未来への成長を実現していくことを願っています。

乳幼児から高齢者にいたる人生の理想郷をめざす

## 教育・福祉・医療・健康事業のIGLグループ

IGLグループは、広島市安佐南区に本拠を置き、60余りの事業所を展開する、教育・福祉・医療・健康事業の総合グループです。キリスト教精神に立脚し、<愛をもって人生にエールをおくる>をテーマに、すべての人が生ある喜びを分かちあえる理想郷づくりをめざして、1969年の創立以来、地域のみなさまとともに歩んでいます。

### 施設福祉・在宅福祉・地域支援事業

家庭的なぬくもりの中で  
その人らしい暮らしをささえる  
介護保険制度を網羅する高齢福祉事業群

高齢者  
福祉

乳幼児  
保育・教育

### サムエルこどもの園

自ら考え、自ら判断し  
自ら行動する、子どもの育成  
幼保連携型認定こども園/保育所型認定こども園

専門学校

関連事業

海外高齢者事業コンサルティング  
貿易事業/給食受託事業  
環境事業 など

医療・健康

### IGL医療福祉専門学校

医療福祉の国家資格・スペシャリストを養成  
日本と母国の架け橋となる国際人材を育成  
歯科衛生学科・介護福祉学科・鍼灸学科・柔整学科  
日本語学科・国際教養コミュニケーション学科

### クリニック・鍼灸院・接骨院

疾病予防、介護予防、  
西洋医学・東洋医学の連携



心理カウンセラー川本先生のコラム

## 愛とつながり

だいじょうぶ!!



川本喜久子先生（公認心理師・精神保健福祉士）  
IGL医療福祉専門学校のスクールカウンセラーとして、学生ひとりひとりに寄り添う支援を行っています。

「レジリエンス」とは、困難をしなやかに乗り越え回復する力のことで、「回復力」「復元力」などと訳されます。1950年代におこなわれたカウアイ研究では、レジリエンスの高い人には、「子どもの頃に親身にケアしてくれる人がいた」とされています。それは親でなくとも、祖父母や学校の先生でも構わず、「あなたはそのままでもいい、あなたを大事に思っている」というメッセージを伝えていたことが、逆境に負けない心を育てたのではないかとされています。

現代は不安が渦巻く、先の見えない社会ですが、レジリエンスを高めるには、第一に、「自分は大丈夫」という感覚を育てていくこと、第二に、小さくてもいいので、つながりをたくさん持つことが重要です。自己肯定感を高めることは、大人になってからでも可能です。そして、何かあった時に相談できる人をつくっておくこと、「相談希求力」を意識的に持つように心がけましょう。

エールを送る!

IGLで働くひと Interview

# 人のことを思いやる気持ちは 自分のことを大切にすることで生まれる

よしもと みさ

保育教諭・正職員 **吉本 美沙さん**

2011年度入職。サムエル薬師が丘こどもの園で1号認定の担任として勤務。  
2015年に退職しましたが、2017年に復職。

現在は園のリーダーとして、園長や主任たちと共に園の行事や業務、保育に関することを考えています。職場の雰囲気は明るく気さくで、働きやすい環境です。子どもたちや保護者の方々とつながりを大切に、卒園しても再会する機会を通じて愛やつながりを感じます。教職員同士もお互いの良さを認め合い、保育の質を高めるために努力し、コミュニケーションを大切にしています。

IGLで働くことで、隣人愛が大切なことだと学びました。幸福を感じる瞬間は、楽しさや喜びを共感できること、自分の働きに対する評価や自己成長、保育に関する情熱を分かち合うことです。

保育教諭は、長く続けることで卒園した子どもたちや保護者の方々とつながることができ、スキルアップや経験の幅も広がるお仕事であることを若い先生方へ伝えたいです。

将来は、園での経験を活かして相談員や児童支援員の仕事に興味があります。私生活では、マリンスポーツにも挑戦したいです。



同僚からのエール!

笑顔がすてきな吉本さん! ユーモアたっぷり、子どもたちや保護者、職員をいつも明るく包み込んでくれます。相談も親身になって聞いてくれ、とても心強い存在です。これからも吉本さんの温かい愛をたくさんの人に届けてください! (同僚: 河田 麻里さん)



卒園生からのエール!

## 親子二代でサムエルへ 卒園後も続く絆

私はよく園庭で走り回る活発な子どもでした。学生時代はサッカーに打ち込み、全国優勝を果たしたこともあります。現在は、歯科医師として日々奮闘しています。サムエル幼稚園でのびのびと過ごせたことが今の私に繋がっていると感じています。

嬉しいことに、現在、私の娘や姪もサムエルこどもの園に通っています。娘達が私と同じように先生方から愛情をたっぷり注がれ、のびのびと過ごせている様子を見ると、感謝の気持ちでいっぱいになります。



美鈴が丘サムエル幼稚園  
1995年卒園  
**矢野 拓也さん**  
アネラデンタルクリニック 勤務

美鈴が丘サムエル幼稚園当時の拓也さん



## 乳幼児保育・教育事業 Topics 5月~8月



### 年長行事

こども園での思い出作り。夏の夜を楽しみました。「夜のこども園」では友だちと一緒にキャンプファイヤーや花火も楽しみました。



### 地域交流

地域の方と一緒に近隣の公園の花壇に花の苗を植えました。開かれた園を目指し地域との交流を大切にしています。



### 玉ねぎの収穫

今年は大きな玉ねぎを収穫することができました。日々、生長を観察し、収穫を楽しみに過ごしています。



### お水気持ちいいね

暑い季節ならではの水遊び。ウッドデッキにたらいを並べ、水の気持ちよさを感じながら快適に過ごしています。



### 美術館に行きました

公共交通機関を利用しての園外保育。東広島市立美術館で開催されている「ねずみくんのチョコ展」に行きました。



### 平和への祈り

子どもたちと平和について考える時をもちました。思いを込めて折った千羽鶴を持って平和公園へ行きました。



### 国際交流(オンギジャンイ)

韓国より“オンギジャンイ”の皆さんが素敵な歌声を聴かせてくださいました。様々な国の文化や音楽に触れる機会となりました。



### 保護者会活動

保護者会主催のカルチャー教室が開催されました。テーマは「ラクしてキレイをキープ 簡単お掃除講座」たくさんの保護者の方が参加されました。



サムエル園長先生  
リレーコラム

## 心を育む



サムエル信愛こどもの園  
宮田 美智子園長

お日様がのぼります。  
小鳥たちが目をさます。  
町に光がいっぱい。  
みんなのおめめもぱっちり。  
朝です。  
新しい一日のはじまりです。  
《幼児さんびか》



早起きしましたか? 朝ご飯たべましたか?  
たくさん遊びましたか?  
きっとぐっすり眠ったことでしょう。  
昔から言い続けられた、大切な生活リズム。  
簡単そうで難しい規則正しい生活、居心地の良い環境・人間関係は、神さまから頂いたかけがえない命、こどもの学びや育ちに大きな影響を与えます。  
そこに希望があると信じながら、今日も子どもたちと向かい合っています。

## 園児募集について



サムエル各園に入園をご希望される方は各園のホームページよりお問い合わせください。



こども園 総合TOP

..... 入園説明会迫る! .....

- サムエル未来
- サムエル信愛
- サムエル薬師が丘
- サムエル美鈴が丘

エールを送る!

IGLで働くひと Interview

色々なことを感じ取り、考え、その上で行動することが重要

かとう あやか  
教員 加藤 彩花さん

2020年度入職。IGL医療福祉専門学校柔整学科教員。

私自身本校の卒業生で、卒業後5年間接骨院や病院に勤務した後、教育を通じてさらに成長したいと考えて教員として入職し、現在4年目です。担当している授業は解剖学や柔整理論です。柔整学科の教員の先輩方は卒業生が多く、元々師弟関係でお互いをよく知っているの、相談もしやすく、アットホームな雰囲気です。

学生さんとは、日々、多く関わりを持つように意識し、授業や指導以外の会話や関わりからも、お互いの信頼関係を築くことを大切にしています。特に自分が関わったイベントを楽しんでいる学生さんの姿に最高の幸せを感じます。

職場で常に心がけていることは、目配り、気配り、心配り。この意識で、困った時は助け合える、お互いさまの関係を保つことができます。私は現在子育て中ですが、子どもの急な体調不良などにも快く対応して下さる職場の皆さんに感謝しています。

仕事をして感じることは、自分が思うより、周りの方は自分のことを大切にしてくれているということ。私も、学生さん一人ひとりの変化・成長に気づけるように、いつも意識しています。これからも目の前にあることに精一杯取り組み、自分より他人のために行動できる人でありたいと思っています。



同僚からのエール!

加藤先生は、一人ひとりの個性や特性を尊重する指導で、厚い信頼を得ています。(同僚：柔整学科 森山嵩大先生)



卒業生からのエール!

IGLでの学びが自信につながった

日本語学科  
2022年3月卒業  
国際教養コミュニケーション学科  
2023年3月卒業  
レー キエウ チーさん



私は、2021年にIGLに留学し、翌年国際教養コミュニケーション学科に進学しました。最初はすごく疲れましたが、だんだん授業が面白くなって、生活やアルバイト先で習ったことが適用できました。例えば、厳しい日本人の文句を聞いたときの対応、何か言いたいときに相手に伝える方法などです。最終的にはアルバイト先で店長が怖くなる感じがしました。

また、SDGs、日本の地理、歴史、侍のことなども勉強して、大学生との交流授業も行いました。有益なキャリア授業もあり、将来にわたって役立つチームワークスキルを身につけられました。



専門学校事業 Topics 5月~8月

PICK UP! 7月21日、IGLスポーツフェスタ2023開催!

4年ぶりに、全6学科の学生と教職員総勢約450名が東区スポーツセンターに集合、アリーナ中に笑顔と歓声があふれました。

競技種目は男子のパレーボール、女子のソフトパレーボールと、借り物競走に男女混合リレー。学生の委員が3ヶ月かけて準備した甲斐あって、全員が全力でスポーツを楽しみ、他学科との交流を深め、日頃の運動不足も解消しました。



IGLの国家資格者養成 2大特色

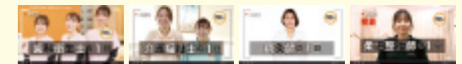
01 実技・実習にしっかり取り組む

授業内で確かな技術を習得、加えて月曜日を自由に使えるフリーマンデー制度を活用し、自主参加型の勉強会・実技講習会で実力アップ!



02 確かな実習先・就職先と連携

IGL卒業生の活躍をIGL YouTube CHANNELでご確認ください!



オープンキャンパスの詳細、進学情報はホームページから



オープンキャンパス情報



ホームページ

vol.1

かんたんセルフケア

効果的なツボを知ろう

鍼灸学科長 南一成先生

足がむくむ | 指で押すと指のカタチが残る

血行をよくして、代謝をよくするツボ

ひざの内側で、ひざ下くぼみの位置から指幅4本下がったところ。押すと落ち込むところがあり圧痛があります。

いんりょうせん 陰陵泉

さんいんこう 三陰交

内くるぶしの中心から、指幅4本上がったところ。

だいと 大都

足の第1指(親指)付け根の側面。ふくらみを指で軽くなでへこんでいるところ。

こんろん 崑崙

外くるぶしのすぐ後ろのくぼみの中にあります。

こむら返り | 突然やってくる、足がつる痛み

血行をよくして、足の筋肉をほぐすツボ

さんいんこう 三陰交

内くるぶしの中心から、指幅4本上がったところ。

ゆうせん 湧泉

足裏のつま先からかかとまでの約1/3のところにできるくぼみの中です。

しょうざん 承山

かかとからアキレス腱に沿ってふくらはぎの方へ指でおおしていきます。アキレス腱とふくらはぎの筋肉の境目で指が止まる場所。

エールを送る!

IGLで働くひと Interview

コロナ禍を乗り越えて、  
つながりとチームワークが育まれました

たまい まさみ  
介護士 玉井 祐美さん

2017年度入職。ベルローゼ デイケア勤務。  
業務入浴・排泄・食事介護・日勤リーダー・送迎などの業務を担当。

職場の雰囲気は、人間関係において人それぞれ違った個性があり、ベテランの方や新しく入職される方も含め、明るく働きやすい職場だと感じています。

日々の仕事の中で大切にしていることは、分け隔てなく一人ひとりに合わせて接すること、その方ができないことを支援することです。

また、コロナ禍で職員の人員が不足する日が多かった中でも、出勤スタッフが声を掛け合い、看護職員・リハビリ職員・介護職員が協力し一丸となって頑張ったことで、職場での愛やつながりを実感しました。職種の垣根を超え協力することも大切にしています。

IGLで働くことで、介護技術や隣人愛について学びました。当たり前のことを当たり前に行うことや、利用者様の笑顔や感謝の言葉に幸福を感じています。

これからも自分なりに一生懸命頑張ります。この夏は暑い日が続きました。体調を崩しやすい時期ですが、一緒に乗り越えましょう!



上司からのエール!

笑顔でいつも走り回っている人です。がんばり屋さんで出来ない事は時間をかけて納得するまでやってクリアしていく努力家。家では二児の母。家庭でも頑張っている人です。(管理者：日下 久美さん)



外国人技能実習生へエール!

これからの介護に欠かせない人材、外国人技能実習生の活躍をご紹介します!

日本で働くことを決めた理由は?

中国は現在高齢者社会を迎え、自立した生活が困難な高齢者が急増しています。中国における介護サービスは技術、施策ともに未成熟な分野です。

日本では介護施設が細かに段階設定され、状態に合わせた介護サービスを受けることができます。日本で介護専門知識、技術を勉強して、中国へ持ち帰って本格運用を実現したいので来日しました。

これからの目標を教えてください。

みんなのおかげで介護福祉士の国家資格に合格しました。本当に感謝しています。嬉しいです。介護の仕事はとても良いですが、中国の看護師の資格を持っているので、看護師の仕事も続けたいです。難しいけれど、介護の仕事をしっかりして、日本の看護師資格取得を目指して頑張ります。



特別養護老人ホーム  
第二ナーシングホームゆうゆう  
ケアスタッフ

陳 秋萍さん



高齢福祉事業 Topics 5月~8月

「信愛の郷」オープンから半年が経過。

今年3月、広島市南区本浦町に「IGLナーシングホーム 信愛の郷」を開設しました。入居部門は、ほぼ満床の状況になっています。

“家庭的なぬくもりの中で、その人らしい暮らしをささえる。”ことを目指して、職員一同、頑張っています。

当施設に併設の「IGLデイサービス 信愛の郷」「IGLショートステイ 信愛の郷」のご利用も好評です。また、「IGL 居宅介護支援事業所 信愛の郷」では、ケアマネジャーが常駐していますので、介護に関するお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。



信愛の郷の全景



デイサービスの夏祭り

IGLの高齢者福祉事業は、「入所サービス」「通所サービス」「訪問サービス」3つのサービスを展開しています。多様な医療・介護サービスの連携でご利用者を継続的に応援します!

入所サービス Topics



最高水準の介護老人保健施設『超強化型老健』に認定、「介護老人保健施設 ベルローゼ」

在宅支援・在宅復帰の為に地域拠点として認定されました

「超強化型老健」とは、厚生労働省が定める要件を満たした在宅復帰・在宅療養支援機能が、最も高いと認められた介護老人保健施設のことです。専門職による個別リハと、暮らしの中での生活リハで、在宅復帰を目指します。



在宅生活を支えるために

事前のご自宅訪問で生活環境を確認、カンファ\*を通じて支援内容の検討をします。在宅復帰時には介護指導やご自宅での動作確認、福祉用具の提案を行います。  
※よりよい介護サービスを提供するために、介護職・ケアマネジャー・看護師などが集まり、行われる会議のことです。

施設内研修の実施

老健医師を講師として、施設内研修を実施しました。毎月テーマを決めて実施しています。介護・看護・リハビリ・栄養士等、多職種が連携して支援を行える様務めています。



園芸療法



脳活性リハビリ



ご自宅での動作確認



カンファや感染対策会議の実施

## 通所サービス Topics



### IGLグループで唯一のデイケア「ベルローゼデイケア」

#### とにかく、運動をする場所

全員での全体体操を午前・午後行います。個人が自発的に  
行う運動とリハビリ専門職による個別リハビリを行っています。



#### とにかく、色々な人が集まる場所

要支援1から要介護5の方  
で利用されています。大型車  
両や特殊浴槽があり、在宅で  
の生活を支えることを使命に  
しています。



#### とにかく、小さなチャレンジがたくさんある場所

フロアの中に、言葉のクイズや背伸ばしポイント、歩行ポ  
イントなど様々なチャレンジがあります。ご自身の為のチャレンジ  
をご用意しています。

2023年7月から全員での音  
読を始めました。1か月単位で  
メニューが変わります。



#### とにかく、職員が元気な場所

介護・看護・リハビリの三  
職種一体で皆様を支援します。  
ご利用者さまの状態は様々。  
しっかり向き合いその方のベ  
ストを目指します。



## 訪問サービス Topics



### 笑顔と安心を届ける訪問看護「IGL訪問看護ステーション」 どうぞよろしくお願ひします!

#### 医療機関との連携

基幹病院、地域のクリニッ  
クから指示を受け、看護師や  
リハビリ職員が訪問します。主  
治医と連携し、生活の視点か  
ら療養を支えます。



#### 安心の対応力!

0歳から100歳を超え  
る方まで、どんな病気で  
も対応します!  
必要に応じて看護だけ  
でなくリハビリも受けられ  
ます。



#### 24時間365日サポートします

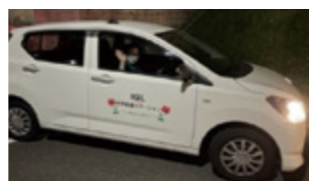
ご自宅で人工呼吸器や酸素  
療法も対応できます。

自宅で点滴や注射も出来  
ます。休日や夜間でも、看護師  
がサポートします!



#### 頼れる連携能力!

医療機関だけでなく、ケア  
マネさんやヘルパーさん、デ  
イケアやショートステイ先、学  
校や療育センター、様々な機  
関と連携しています!



### 科学的根拠に基づく癌予防

クリニック アルペンローゼ  
医師 江藤 高陽 先生



日本人は、死ぬまでに二人に一人が、癌に罹患すると言われている。2021年の癌死亡数は381,505人で、全死亡数の26.5%を占め、この41年間続けて第1位を独占している。第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患を抜いて老衰である。

#### 癌の要因

日本人における癌の要因として、男女共に喫煙・感染・飲酒  
が上位3位を占める。

特に、喫煙は、非喫煙者に対し発癌リスクが1.5倍、肺癌による  
死亡率は男性で4.65倍、女性でも3.75倍と高値である。受動喫  
煙でも発がんリスクは上昇する。喫煙は、肺癌だけではなく、食道癌・膵臓癌・胃癌・  
膀胱癌なども発症する。また肺組織が破壊され、常時酸素吸入を要することもある。  
感染も発癌の原因となる。B型およびC型肝炎ウイルスは肝臓癌、ピロリ菌は胃癌、  
ヒトパピローマウイルスは子宮頸癌の原因となる。感染防止の対処方法は確立して  
おり、予防にはワクチンがあり、治療薬もある。  
飲酒は食道癌や大腸癌と強い相関関係があり、女性では乳癌リスクが上がる。  
塩分の取りすぎは、特に男性で胃癌のリスクが高い。  
熱いものが好きな人は食道癌のリスクが上がると言われている。  
身体活動量が高い男性は大腸癌や肝臓癌・膵臓癌のリスクが下がる、女性は胃癌  
のリスクが下がると言われている。



#### がんになる確率を減らすために

がんになる確率を減らすために、以下の5つの健康  
習慣の実践が勧められている。

- 1 禁煙
  - 2 節酒
  - 3 食生活の見直し
  - 4 身体を動かす
  - 5 適性体重の維持
- 何もしていないあるいは1つだけ実践した場合に比べ、2つ  
実践でがんになる確率が男女ともに14%減少、3つ実  
践で男性28%、女性27%減少、4つ実践で男性39%、  
女性32%減少、5つすべて実践する事により男性で  
43%、女性で39%減少することが分かった。  
癌予防のためにいかに生活習慣を改めることが重要  
であるかが良くわかる。  
今からでも遅くない、健康な生活を送るために若いうちから生活習慣  
を改めましょう。



### 教会から「愛の手紙」

#### 地球沸騰化!

広島福音教会牧師  
加藤 望 先生

今年の夏は、今までになく蒸し暑く感じましたね。外に出るとムツ  
とした空気に襲われ、なんだかサウナに入るように感じる時もあり  
ました。台風のおかげで湿った南風が吹き込み、日本海側では連日のフェーン現象。新潟や山形、秋田で連日38度、39度  
など信じられません。私は7月末に札幌に行ったのですが、連日  
30度越えて、夜も25度と熱帯夜。北国の札幌で、なんでこんなに蒸し暑い!?と叫びたくなりました。地元の人も、こんなこと  
は今までなかったと言っていました。

世界に目を転じると、ギリシャ、スペイン、ポルトガルでは連日  
の猛暑で気温が40度越え。山火事も発生しています。けれども  
フランスでは連日の大雨で、気温も下がっているそうで、何と11  
月並みの寒さだとか。偏西風が蛇行して、隣国土の国で熱波と  
寒波が同居している状況です。正に異常気象ですが、これが毎  
年のこととなるので、もう異常とは呼ばず、「ニューノーマル（新  
たな正常）」と呼ぶのだとか。

国連のグテーレス事務総長が、「地球は新たな段階に入った。  
もう地球温暖化ではなく、地球沸騰化だ」と言いましたね。修復  
不可能なほど温暖化が進み、とうとう大気も海もグツグツと沸騰

しているというのです。そんなイメージなど想像したくもありません  
が、そういう危機的段階に入ってしまったようです。

そしてこの夏、最も私達を震撼とさせるニュースが飛び込ん  
できました。アラスカで氷河湖が決壊し、大量の氷の欠片と水が  
溢れ出して下流の町を襲い、家々が次々と流されたのです!シベ  
リアではツンドラ（永久凍土）が解けて、あちらこちらで巨大な  
穴が開いています。地中の氷が解けて表土が陥没したのです。  
そこからメタンガスが噴出し、高濃度の二酸化炭素が排出されて  
います。ますます温暖化、否、沸騰化が進む悪循環です。そして  
永久凍土が解けることで、凍ったマンモスなどが転がり出し、未  
知の細菌やウイルスが放出されているとか。新型コロナのような  
未知の感染症が次々に起こってくるのかと思うと、背筋が凍る思  
いです。

神よ、憐れみたまえ!と祈るのみです。同時に、神が造られた  
被造物を治めるように命じられた私たち人類の使命を、改めて自  
覚する必要があります。「海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての  
生き物とを治めよ」(創世記 1:28)。  
英知を集め、国同士が協力し合い、  
人間の活動を抑制し、自然を破壊す  
るのではなく、良く管理し治めてい  
くことこそ、人類に託された最重要使  
命なのです。



IGLグループは約60の事業所を展開しています。毎号、各施設からのお便りをお届けします！

## 施設だより

vol. 1

学校法人IGL学園  
認定こども園

### サムエル未来こどもの園

本園は広島市の北西部に広がる丘陵地に開発された「西風新都」の東側に位置し、近くにはアストラムラインが走っています。

子どもたちは、季節の移り変わりが感じられる木々や草花、小さな生き物に触れ合って遊んでいます。

#### ひとこと

サムエルに入職して20数年が過ぎました。日々、心に寄り添う環境づくりを心がけています。

休日にはのんびりと空を眺めたり、お料理をしてリフレッシュしています。



川本 泰子 園長



**住所** 〒731-3167  
広島市安佐南区大塚西2丁目4-13

**電話** (082) 849-6161

**開設** 1974年4月1日

**職員数** 80名

**定員** 350名  
(1号:150名、2・3号:200名)



思いっきり遊べる広い園庭や充実した遊具など、子どもが主体的に活動できるような環境を整え、体験や遊びを通してさまざまなことを学び、心からだを育んでいます。



子どもが安心できる場所であるために、一人ひとりの思いや気持ちを理解し、心が通じ合う関係を大切にしています。また、子どもたちは年齢を超えた多様で豊かな関わりの中で互いに助け合い、協力しながら成長しています。



毎日、全クラスで写真やコメントなど保育活動を記録し保護者へ配信しています。子どもと保護者の会話のきっかけづくりだけでなく、日誌として役立つことで、職員同士のつながりが深まり保育の質の向上に役立っています。

管理栄養士◎◎さんの

### LOVE注入♥レシピ



忙しいママパパや、お料理が億劫になりがちなシニアの皆さんへ季節のレシピを管理栄養士がご紹介します。



#### 家庭で出来る行事食「おはぎ」

秋の彼岸は収穫の時期にあたります。おはぎは秋の収穫を感謝して供え物として作られたともいわれています。秋のお彼岸は小豆の収穫期とはほぼ同じで、とれたての柔らかい小豆をあんにすることができます。



#### 材 料

もち米…………… 50g  
水…………… 50cc  
小豆…………… 12g  
三温糖…………… 6g  
塩…………… 0.1g

#### 作り方

- 1 もち米は洗って、分量の水で炊く。
- 2 ①をついて、適当な大きさに丸めしておく。
- 3 小豆は洗って、たっぷりの水で柔らかく煮る。
- 4 ③の豆がつぶれ、水がなくなるまで練り上げる。
- 5 ④に三温糖を加え練り上げ、塩を加える。
- 6 ②に⑤のあんをくるむ。



### スタッフを募集しています

私たちとIGLで働きませんか。詳しくは採用ホームページをご覧ください。



- 保育教諭 ●保育士 ●正看護師 ●准看護師
- 歯科衛生士 ●ケアスタッフ(介護職)
- ケアマネジャー ●相談員 ●送迎ドライバー
- キッチンスタッフ など



IGLグループ

[本部] 〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安6丁目31-1 <https://www.igl.or.jp/>



「愛をもって人生にエールをおくる」をキャッチフレーズに、乳幼児から高齢者まで、すべての人が生ある喜びを分かち合える理想郷づくりを目指す私たち。教育・福祉・医療・健康を通じて、多くの人の人生にエールを届けたい。利用する人、生活する人、働く人、関わる人すべてが気持ちよく明るい希望を持って過ごせる環境を作っていきたい。「環境が人をつくる、しかし最大の環境は人である」という考えから、誰もが活き活きと「隣人愛」の心を実践し、温かい環境が生まれることこそが、理想の「もてなし」だと考えています。